

令和七年度 第一学期始業式 校長式辞

おはようございます。

十年に一度と言われるほどに厳しい冬でしたが、季節は移ろい、ちょうど満開となった、校舎周辺の桜が咲き誇る中、二年生並びに三年生に進級した皆さんと、元気で再会できましたことを、うれしく思っています。

お盆がある夏休みや、お正月がある冬休みとは違い、休むことなく研究活動、部活動、後の伝達表彰にもありますが、全国選抜大会等に出場・活躍した皆さんも複数居ました。年度の初めにあたり、二点お話しします。

一点目 春休み中の三月二十八日、インドシナ半島に位置するミャンマー中部付近を震源として、マグニチュード七、七の地震が発生し、現時点死者・行方不明者が三〇〇人を超える大惨事となっています。

令和六年の初めは能登半島地震がありました。災害はいつ起こるか分からない。したがって日頃から備えをしておくとともに、起こった場合の対処方法についても考えておく必要があります。

関連しますが、海洋高校を会場に八月三十日と三十一日、校内での部活動等の活動実施にも影響があるほどの、大規模な防災訓練（陸からも、海からも、空からも含めてであります。）が行われることが決まっております。また、京都府に今年度、D―EST京都(Disaster Education Support Team)が発足します。被災地で学校の早期再開の支援や被災した児童生徒への学習支援のほか、心のケアに加え、先ほど述べた、日頃からの備えをどうするかという点についても準備が進められることになっています。防災に関する取組がますます身近なものになっています。知っておいてください。

二点目 皆さんは、畠山 重篤先生（NPO法人「森は海の恋人」理事長）という方を知っていますか、四月三日に八十一歳でお亡くなりになられたことが報じられました。私も、畠山先生の御講演を聞かせていただいたことがあり、感銘を受けたことを覚えております。

畠山先生は、著書の中で宮城県気仙沼水産高等学校（現在の宮城県気仙沼向洋高等学校で、本校と同じく水産・海洋系高等学校）御出身と仰っています。宮城県の気仙沼をフィールドに、カキ養殖に取り組みてきました。日本の高度経済成長期に、生活排水等で赤潮が発生するなど水質悪化が深刻となった時期がありましたが、この時期にフランスなどに訪問し海外の様子を視察され知識や技術を蓄積されていく中で、当時としては初めて、海で働く生業でありながら、山に木を植え、海に流れ込む川・いわゆる陸水の環境改善に取り組みしたのであります。海に流れ込む水を改善することで、海の環境を改善するという取組です。この活動は、全国にも広がり、「森は海の恋人」というタイトルで小学校の社会科の教科書に掲載されたほか、十冊を超える著書、エッセイ、テレビ出演など幅広い分野で活躍され、京都大学フィールド科学教育研究センター「社会連携教授」としても御活躍されました。2022年には、国連森林フォーラムから「森林ヒーロー」に選ばれ、国際的にも実績が認められました。また大きな功績として、環境を守る意識の高い人づくり（市

民運動としての環境改善を定着させたこと）に貢献されたことも特筆できると思います。私が視聴させていただいた畠山先生の御講演で、涙が出るほどに心を打たれたことを紹介します。それは、漁師が山に木を植えていることに対し、最初は、だれも相手にしなかった。馬鹿にする人さえもいた。ところが、ただひたむきに、黙々と続ける姿に協力する人が徐々に増えていったということです。「何事にもゆるがない信念を持ち、主体的に行動する人生を貫く」お手本だと思っております。地道に環境を守る市民運動を自らが始め、定着させた功績は大変大きいと思っています。もし畠山先生の活動がなかったら、今ごろ日本各地の海の環境はどうなっていたらうと思います。

本日から、令和七年度が始まりました。

「竹」という植物は、節があつてこそ頑丈な幹の強度を保っています。もし竹に節がなければ、弱々しくすぐ折れる状態となります。本日は、節に当たる年度の初めの大切な日です。

いよいよ二年生は、所属する各学科・コースでの本格的な授業や実習が始まり、三年生は進路の取組が本格化し、この一学期の成績が、調査書の数値となります。明日、新入生が入学しますことから二・三年生ともに、上級生としての立場にもなります。七年度が終わる来年三月には、「こんなよい成績が取れた。」「部活動の試合で入賞できた。」「こんな研究活動ができた。」「こんな資格が取れた。」「希望進路が実現できた。」「その他に「こんな成果があった。」など、具体的な成果が出せるよう、お互いがプラス思考で、切磋琢磨できましたら幸いです。皆さんが、自分の得意とする分野で、それぞれで活躍し、成長する年度にしてもらえることを期待しています。

以上で私からの話は終わります。

令和七年四月八日

京都府立海洋高等学校

校長

上林 秋男